

北野 潤 (教授・生態遺伝学研究室)

京都大学医学部卒業。医学博士。京都大学大学院医学研究科認知情報学講座助手、フレッドハッチンソン癌研究所ポスドク研究員、東北大学大学院生命科学研究所生物多様性進化分野助教を経て、2011年より国立遺伝学研究所に着任。

百年後にでも世界のどこかで

いったんは医学部を卒業し基礎医学研究をしていましたが、進化生物学に魅せられて2003年に渡米後からトゲウオという魚をモデルにして、どのように多様な種が生まれてきたのか、どのように生物はうまく環境に適応してきたのかを解き明かす研究をしています。モットーは、「本当に面白いね!」と言ってもらえる研究、世界が真似をするような研究を自分のラボから世界へ発信することです。自分の論文が(もちろん現在もですが)数十年後、あるいは、百年後にでも世界のどこかで誰かに読まれて、刺激を与え続けることができたらいいなと思います。2011年に進化研究で有名な国立遺伝学研究所に研究室を構えさせていただき、若いラボメンバーの方々と日々研究を楽しんでいます。国立遺伝学研究所にいるということを海外の研究者に言うと、きまって「木村資生のいた研究所で、とても名誉あることだね」というようなことを言われます。また、海外の研究者を招待すると「木村資生の銅像はないのか?」ともよく聞かれます。先人たちが時間をかけ築きあげてきた進化研究の伝統と歴史を大事にしながら、同時に最新の科学技術を導入して新しい進化研究を展開していきたいです。

